



初期設定ガイド for macOS

An-340 / 第 16 版 / 2023 年 12 月 22 日

MOTEX

まえがき	2
第 1 章 導入の流れ	3
第 2 章 かんたんインストール	5
2-1 MDM 証明書を登録する	6
2-2 インストール手順と URL を確認する	8
2-3 デバイスに LANSCOPE クライアントをインストールする	10
2-4 グループを設定する	21
2-5 管理対象デバイスの情報を編集する	27
第 3 章 カスタムインストール	34
3-1 MDM 証明書を登録する	35
3-2 グループを設定する	37
3-3 管理対象デバイスの情報を登録する	43
3-4 インストール手順と URL を確認する	50
3-5 デバイスに LANSCOPE クライアントをインストールする	54
こんなときは	65
機種変更などでデバイスが変更になった場合	66
トラブルシューティング	67

まえがき

本書は、macOS 向けの初期設定方法について説明します。

製品マニュアルラインナップ

各種マニュアルラインナップは、次のとおりです。

マニュアルの種類	説明
初期設定ガイド for iOS/iPadOS	iOS/iPadOS 向けの初期設定手順
初期設定ガイド for Android	Android 向けの初期設定手順
初期設定ガイド for Windows	Windows 向けの初期設定手順
初期設定ガイド for macOS	macOS 向けの初期設定手順
利用ガイド	管理コンソールの操作手順
アンインストールガイド	LANSCOPE クライアントのアンインストール手順

用語について

- 断りのない限り、本書の「iOS」は「iOS/iPadOS」の双方を指します。

お問い合わせ先

操作方法／トラブル／販売／お取扱いなど

メールまたは電話でお問い合わせください。

https://tryweb2.motex.co.jp/contact/cloud_support.html

商標・著作権

- 本書で使用される各社の社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本書に含まれる文章や画像などの著作権は、一部を除き、エムオーテックス株式会社が所有します。
- 本書のすべてまたは一部をエムオーテックス株式会社の許諾なく複製し、頒布その他の行為を行うことはできません。また、本書の内容・構成をエムオーテックス株式会社の許諾なく改変し、改変したものを複製し、頒布その他の行為を行うことはできません。
- 本ソフトウェアの仕様ならびに本書の記載内容は、予告なしに変更することがあります。
- MOTEX はエムオーテックス株式会社の略称です。

第 1 章 導入の流れ

LANSCOPE エンドポイントマネージャー クラウド版 Free で macOS デバイスを管理するために必要なプログラムや利用開始までの流れを説明します。

デバイス管理に必要な LANSCOPE クライアント

macOS デバイスを管理するときに利用するプログラムを「LANSCOPE クライアント」と呼びます。

macOS デバイスを管理する場合は、次の LANSCOPE クライアントをインストールする必要があります。

名称	概要
MDM 構成プロファイル 必須	MDM 構成プロファイルをインストールすることで、エンドポイントマネージャー Free で管理できます。
LANSCOPE Client (アプリ) 必須	デバイス情報の取得に必要です。 MDM 構成プロファイルをインストールして資産情報が取得されると、自動で配信されます。

インストール方法

「かんたんインストール」と「カスタムインストール」の 2 通りの方法があります。インストール方法により、インストールまでの流れや設定方法が異なります。

	かんたんインストール	カスタムインストール
インストール URL	共通のインストール URL を利用し、デバイス側で LANSCOPE クライアントをインストールする	デバイスごとに異なるインストール URL を利用し、デバイス側で LANSCOPE クライアントをインストールする
デバイス管理情報 (*) の紐づけ	紐づけできない (LANSCOPE クライアントをインストールしたあとに登録)	紐づけできる (LANSCOPE クライアントをインストールする前に登録)
メリット	共通のインストール URL を利用するため、簡単にインストールできる	インストール完了後、デバイス使用者の情報と紐づくため、整理された状態で管理できる
デメリット	デバイス使用者の情報と紐づけできないため、あとで登録する必要がある	<ul style="list-style-type: none"> 事前にデバイス管理情報を登録する必要がある メールを利用できないデバイス使用者がインストールする場合、デバイス使用者へのインストール URL を通知する方法を検討する必要がある

* : デバイス管理情報は、[リスト] > [デバイス] > 「デバイス詳細」画面で、管理者が任意に編集できる項目のことです。

第2章 かんたんインストール

かんたんインストール（共通のインストール URL）を利用し、LANSCOPE クライアントをインストールします。

1. [2-1 MDM 証明書を登録する](#) **必須**

iOS/macOS デバイスの管理に必要な MDM 証明書をエンドポイントマネージャー Free に登録します。

2. [2-2 インストール手順と URL を確認する](#) **必須**

LANSCOPE クライアントのインストール手順と、インストールに必要な URL を確認します。

3. [2-3 デバイスに LANSCOPE クライアントをインストールする](#) **必須**

デバイスごとに LANSCOPE クライアントをインストールします。

4. [2-4 グループを設定する](#)

デバイスの情報を編集するとき、グループを設定できます。設定するには、事前にグループを作成します。

5. [2-5 管理対象デバイスの情報を編集する](#)

「デバイス管理名」と「使用者名」を、デバイスを特定できる名前に編集します。

2-1 MDM 証明書を登録する

必須

iOS/macOS デバイスの管理に必要な MDM 証明書をエンドポイントマネージャー Free に登録します。

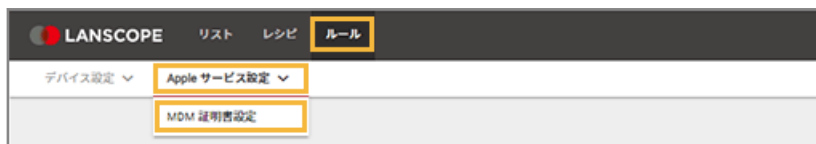
MDM 証明書の有効期限は登録から 1 年で、毎年更新が必要です。

事前に、MDM 証明書をダウンロードするために必要な Apple ID を準備します。

注意

MDM 証明書を更新するときにも同じ Apple ID を使用するため、Apple ID を紛失しないように注意してください。紛失などで Apple ID がわからなくなった場合、デバイスに LANSCOPE クライアントの入れ直しが必要になります。

1. **【ルール】 の【Apple サービス設定】 > 【MDM 証明書設定】 をクリックします。**



2. **【MDM 証明書の登録】 をクリックします。**



3. **管理コンソールに記載の手順に従って、MDM 証明書を登録します。**

MDM 証明書の登録・更新

MDM 証明書は、iOS デバイス または Mac デバイスを LANSCOPE で管理するために必要となる証明書です。
MDM 証明書の有効期限は登録から1年で、毎年更新が必要です。

注意事項
Apple ID を紛失して MDM 証明書を更新できなくなった場合は、新しい MDM 証明書を登録し、各デバイスに MDM 構成プロファイルを再インストールする必要があります。

- 1 CSR ファイルのダウンロード**

ベンダー署名付きCSRファイルをダウンロードします。
追加でベンダー署名付き CSR ファイルが必要な場合は、MDM 証明書を保存したあとにダウンロードしてください。

[ダウンロード](#)
- 2 MDM 証明書ファイルの作成 および ダウンロード**

手順1でダウンロードしたベンダー署名付き CSR ファイルを使用し、
Apple 管理サイト Apple Push Certificates Portal にて MDM 証明書を作成 および ダウンロードします。

[Apple Push Certificates Portal](#)

Apple Push Certificates Portal でのダウンロード手順はこちらをご確認ください。
[マニュアル](#)
- 3 MDM 証明書ファイルのアップロード**

手順2でダウンロードした MDM 証明書をアップロードします。
ファイルの読み込みが完了すると、有効期限が表示されます。

[ファイル選択](#)
- 4 有効期限通知メールの設定**

有効期限が切れる前にメールで通知する

計4回（期日の30日前 / 7日前 / 前日 / 当日）設定したメールアドレス宛に送信されます。
（送信元アドレス：an_report2@LANSCOPE.onmicrosoft.com）

通知先メールアドレス *

[テスト送信](#)
- 5 Apple ID や電話番号などの設定**

MDM 証明書を更新するには、登録時に使用した Apple ID が必要です。
Apple ID や 2 ファクタ認証で使用している電話番号など、メモしておくことをおすすめします。

例) Apple ID : sample@motex.co.jp 電話番号 : 09012345678

メモ
Apple ID : sample@motex.co.jp パスワード : sample123

[閉じる](#) [保存](#)

4. [保存] をクリックします。

→ MDM 証明書の登録が完了します。

2-2 インストール手順と URL を確認する

必須

LANSCOPE クライアントのインストール手順と、インストールに必要な URL を確認します。

1. [リスト] の [デバイス] をクリックします。



2. [デバイスの追加] をクリックします。

管理	デバイスグループ	デバイス管理名	使用人名	OSタイプ	電話番号	デバイスタイプ	
<input type="checkbox"/>	1	総務課	SC-03D_0000000014	江藤 花子	Android	090xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	2	総務課	hammerhead_0000000059	六角 富夫	Android	090xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	3	営業1課	iPhone_0000000028	飯田 育三	iOS	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	4	人事課	N-64C_0000000020	江村 太郎	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	5	営業部	EB-A71GJ_0000000019	橋中 栄一郎	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	6	営業部	L-22D_0000000016	内田 健太	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	7	営業1課	404KC_0000000023	中田 真由美	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	8	営業1課	picasso_aspoustjp_00000000...	橋 秀雄	Android	090xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	9	総務課	iPhone_0000000026	森 太郎	iOS	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	10	営業1課	iPhone_0000000029	別所 哲郎	iOS	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	11	営業1課	Surface Pro 5_0000000044	吉田 勝平	Windows	090xxxxxxxx	ノート
<input type="checkbox"/>	12	営業1課	Surface Pro 5_0000000045	加藤 信也	Windows	090xxxxxxxx	ノート
<input type="checkbox"/>	13	営業1課	404KC_0000000023	石井 健二	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	14	営業2課	404KC_0000000018	平尾 晋作	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	15	営業2課	404KC_0000000007	佐藤 理恵子	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	16	営業部	iPhone_0000000020	伊藤 拓	iOS	080xxxxxxxx	スマートフォン

3. [かんたんインストール] をクリックします。



4. [macOS] をクリックし、手順とインストールに必要な URL を確認します。



URL をコピーし、メールで通知したり、ファイルサーバーやポータルサイトなどにアップしたりして、デバイスからアクセスできるようにします。

2-3 デバイスに LANSCOPE クライアントをインストールする

必須

デバイスごとに LANSCOPE クライアントをインストールします。

OSバージョンにより、画面や手順が異なる場合があります。

■ macOS Ventura 以上の場合

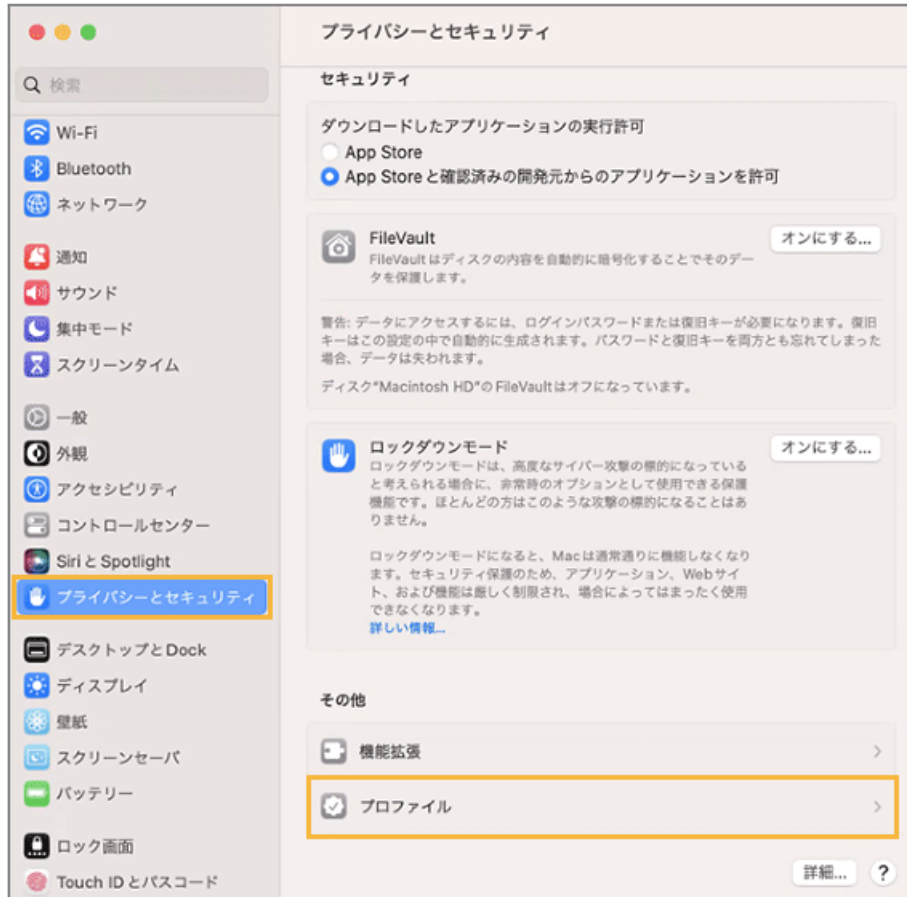
1. Safari で MDM 構成プロファイルのインストール URL にアクセスします。

→ 確認ダイアログが表示されます。

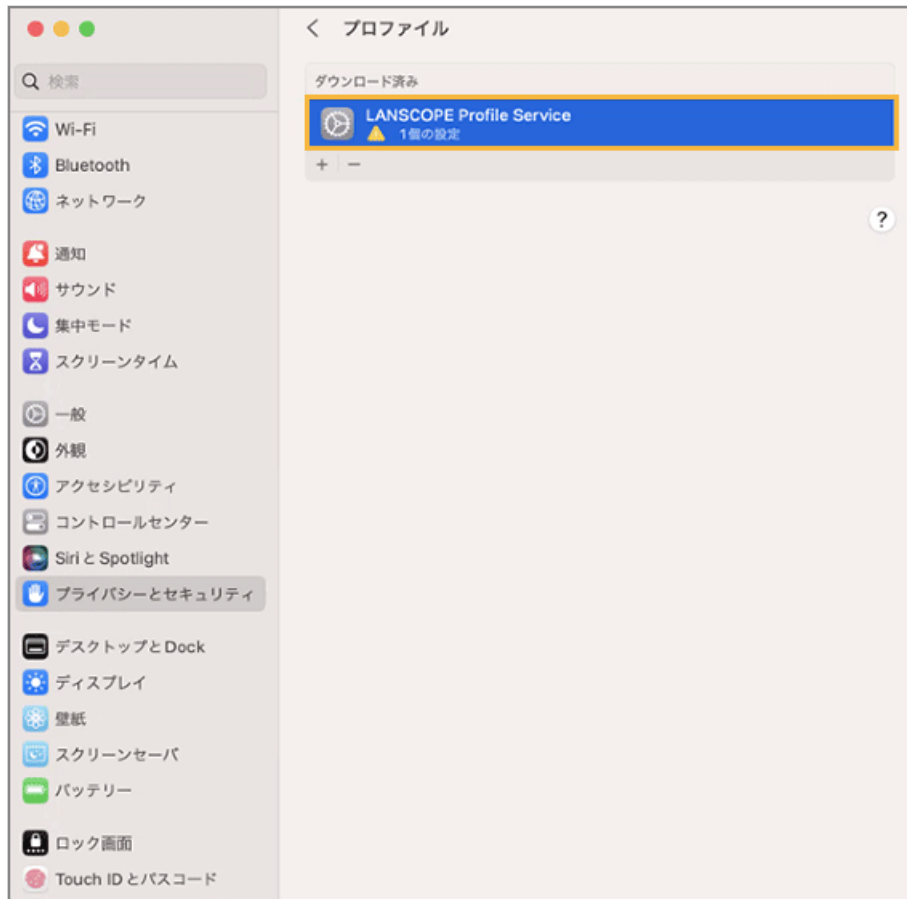
2. [許可] をクリックします。



3. ダウンロードされたファイルをクリックします。
4. [システム設定] の [プライバシーとセキュリティ] > [プロファイル] をクリックします。

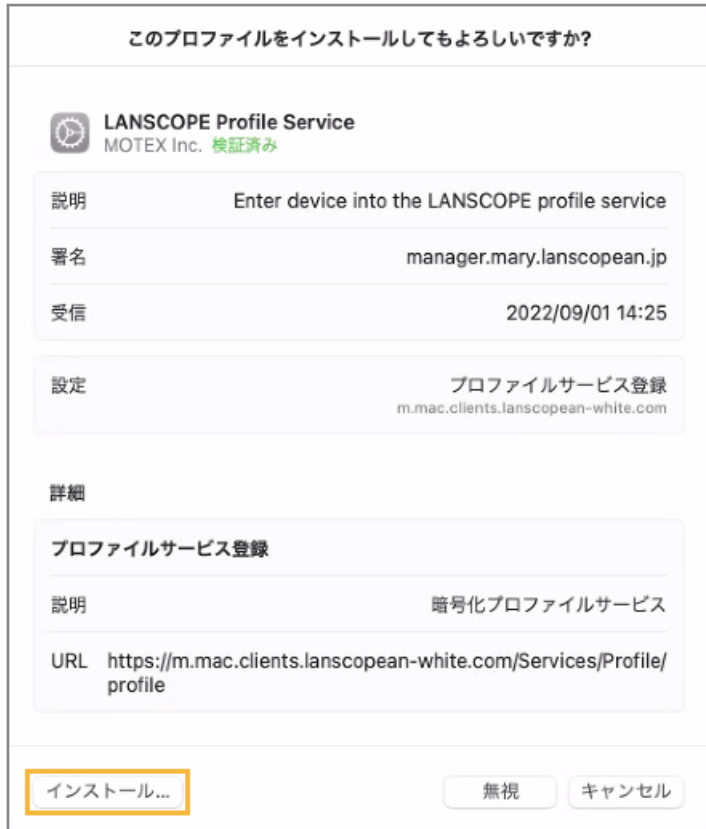


5. MDM 構成プロファイルをダブルクリックします。



→ 確認ダイアログが表示されます。

6. **【インストール】** をクリックします。



7. デバイスのパスワードを入力し、[登録] をクリックします。



8. 「LANSCOPE for macOS」が表示されていることを確認します。



→ MDM 構成プロファイルのインストールが完了します。

ポイント

- MDM 構成プロファイルがインストールされると、[リスト] > [デバイス] のデバイス一覧に表示されます。
- MDM 構成プロファイルのインストール後に資産情報が取得されると、LANSCOPE Client が自動でインストールされます。

LANSCOPE Client のインストールが完了すると、[リスト] > [デバイス] > 「デバイス詳細」画面に、LANSCOPE Client のインストール日時などの情報が表示されます。

■ macOS Monterey / Big Sur の場合

1. Safari で MDM 構成プロファイルのインストール URL にアクセスします。

→ 確認ダイアログが表示されます。

2. [許可] をクリックします。

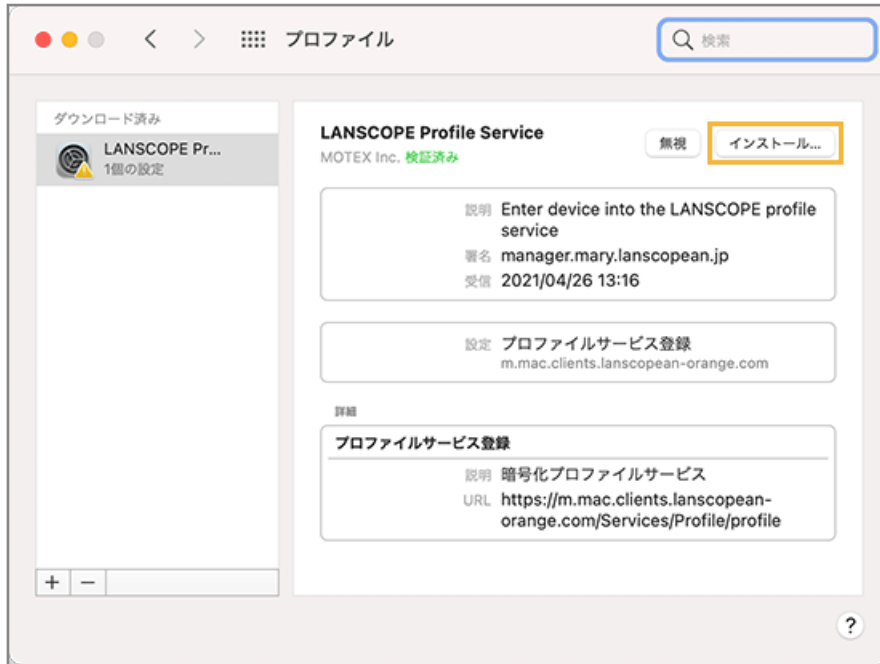


3. ダウンロードされたファイルをクリックします。

4. [システム環境設定] の [プロフィール] をクリックします。



5. [インストール] をクリックします。



→ 確認ダイアログが表示されます。

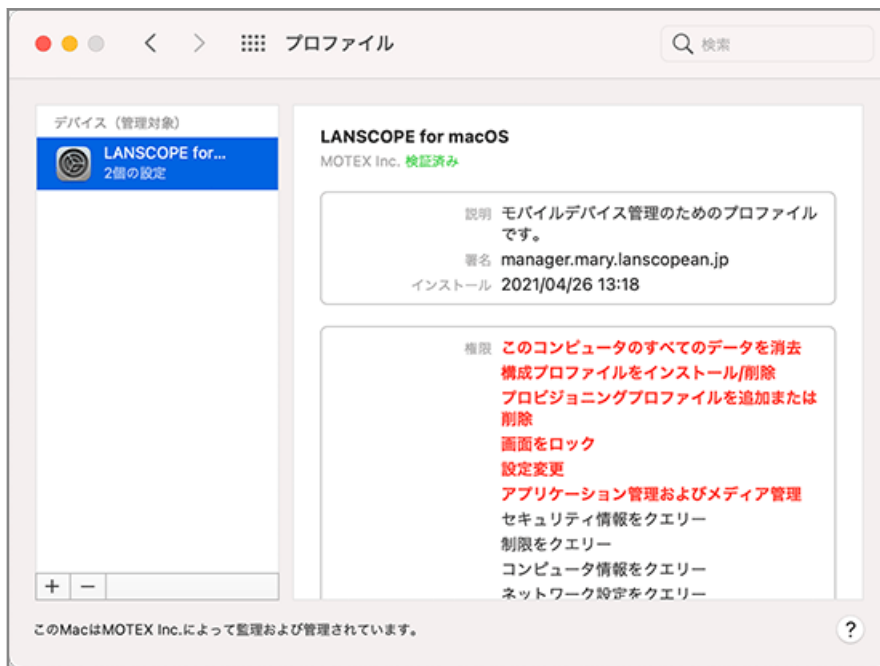
6. [インストール] をクリックします。



7. デバイスのパスワードを入力し、[登録] をクリックします。



8. 「LANSCOPE for macOS」が表示されていることを確認します。



→ MDM 構成プロフィールのインストールが完了します。

ポイント

- MDM 構成プロファイルがインストールされると、[リスト] > [デバイス] のデバイス一覧に表示されます。
- MDM 構成プロファイルのインストール後に資産情報が取得されると、LANSCOPE Client が自動でインストールされます。

LANSCOPE Client のインストールが完了すると、[リスト] > [デバイス] > 「デバイス詳細」画面に、LANSCOPE Client のインストール日時などの情報が表示されます。

■ macOS Catalina の場合

1. Safari で MDM 構成プロファイルのインストール URL にアクセスします。

→ 確認ダイアログが表示されます。

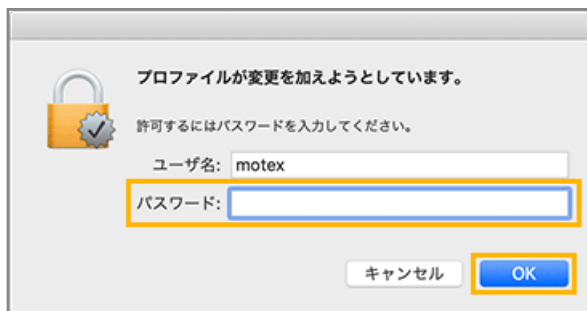
2. [インストール] をクリックします。



3. [インストール] をクリックします。



4. デバイスのパスワードを入力し、[OK] をクリックします。



5. 「LANSCOPE for macOS」が表示されていることを確認します。



→ MDM 構成プロフィールのインストールが完了します。

ポイント

- MDM 構成プロファイルがインストールされると、[リスト] > [デバイス] のデバイス一覧に表示されます。
- MDM 構成プロファイルのインストール後に資産情報が取得されると、LANSCOPE Client が自動でインストールされます。

LANSCOPE Client のインストールが完了すると、[リスト] > [デバイス] > 「デバイス詳細」画面に、LANSCOPE Client のインストール日時などの情報が表示されます。

2-4 グループを設定する

デバイスの情報を編集するとき、グループを設定できます。設定するには、事前にグループを作成します。グループは5階層まで作成できます。

■ グループを手動で設定する

1. [ルール] の [デバイス設定] > [デバイスグループ設定] をクリックします。



2. 設定するデバイスグループの上位階層のデバイスグループをクリックし、[追加] をクリックします。



→ 選択した階層の下に「新しいデバイスグループ」が追加されます。

3. 「新しいデバイスグループ」をダブルクリックし、「デバイスグループ名」と「グループコード」を入力します。

注意

- グループコードには、一意の値を入力してください。
- 入力できる文字の種類に制限はありません（英字／数字／漢字／ひらがな／カタカナ可）。
- 入力できる文字数は、100文字以内です。



4. [保存] をクリックします。

■ グループを一括で設定する

1. [ルール] の [デバイス設定] > [デバイスグループ設定] をクリックします。



2.  をクリックし、[エクスポート] をクリックします。



→ CSV ファイルがエクスポートされます。

3. エクスポートしたファイルを編集し、インポートファイルを作成します。

- 「グループ名」「グループコード」「上位グループコード」を入力します。
- 「上位グループコード」が未記入の場合、1 階層目に設定されます。

注意

- グループコードには、一意の値を入力してください。
- 入力できる文字の種類に制限はありません（英字／数字／漢字／ひらがな／カタカナ可）。
- 入力できる文字数は、100 文字以内です。

4.  をクリックし、[インポート] をクリックします。



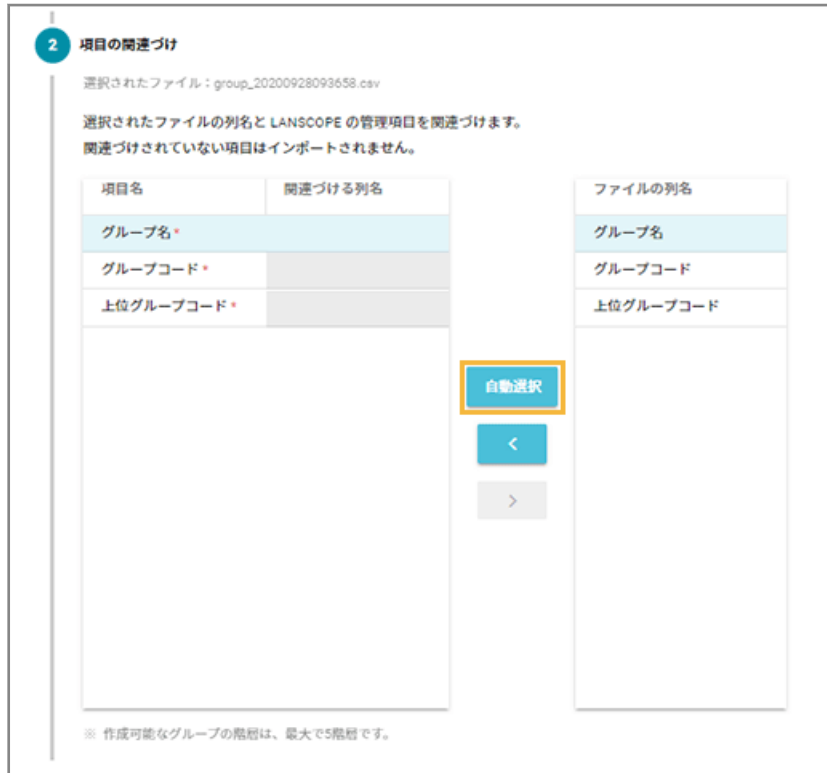
5. 管理コンソールに記載の手順に従って、インポートします。

(1) [ファイルを選択] をクリックし、作成したインポートファイルを選択します。

ファイルの内容が正しく読み込まれない場合は、エンコードを確認します。



(2) [自動選択] をクリックします。



→ 「関連づける列名」が自動的に選択されます。

「項目名」と「ファイルの列名」の項目が一致していないと自動的に選択されません。その場合は、対応する項目を1つずつ紐づけます。

- (3) インポートファイルに記載されていないグループを管理コンソールから削除する場合は、チェックします。



- (4) [インポート] をクリックします。

→ インポートが完了します。

6. 内容を確認し、[保存] をクリックします。



2-5 管理対象デバイスの情報を編集する

「デバイス管理名」と「使用者名」を、デバイスを特定できる名前に編集します。

MDM 構成プロファイルをインストールすると、自動で「デバイス管理名」が登録されます。

macOS デバイスは、機種によって次のように登録されます。

- iMac 「iMac」
- Mac mini 「MacMini」
- Mac Pro 「MacPro」
- Mac Studio 「MacStudio」
- MacBook 「MacBook」
- MacBook Air 「MacBookAir」
- MacBook Pro 「MacBookPro」

■ デバイス情報を 1 台ずつ編集する

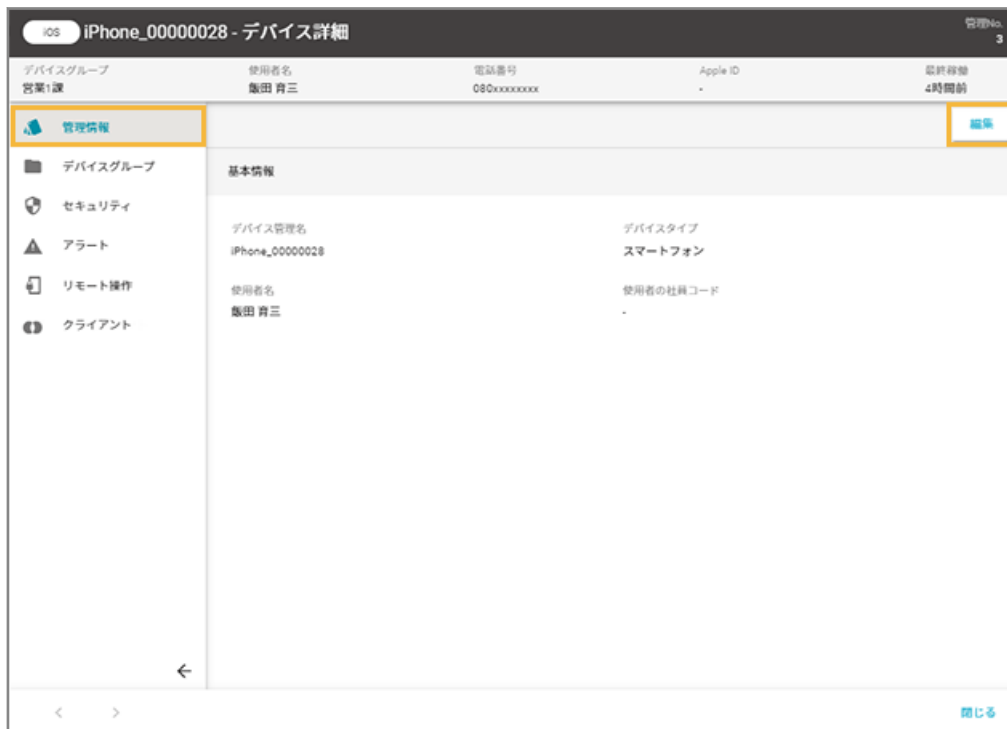
1. [リスト] の [デバイス] をクリックします。



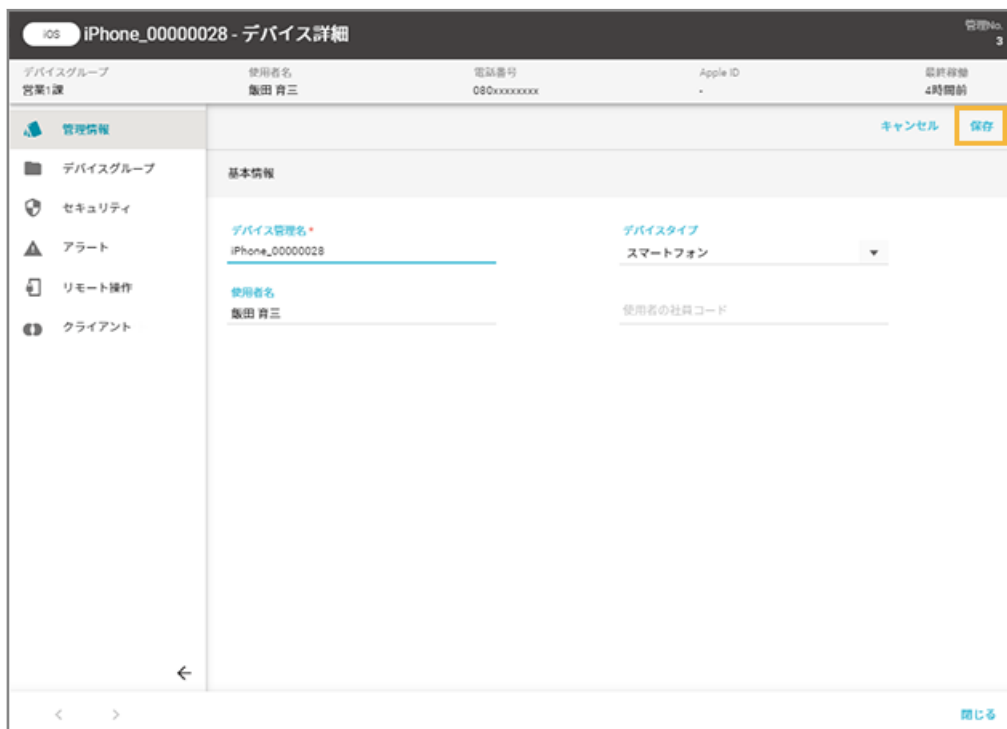
2. デバイスをクリックします。

管理	デバイスグループ	デバイス管理名	使用者名	OSタイプ	電話番号	デバイスタイプ
<input type="checkbox"/>	総務課	SC-03D_0000000014	江藤 花子	Android	090xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	総務課	hammerhead_0000000059	六角 富夫	Android	090xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	営業1課	iPhone_000000028	飯田 育三	iOS	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	人事課	N-04C_0000000020	江村 太郎	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	営業部	EB-A71GJ_0000000019	橋中 栄一郎	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	営業部	L-22D_0000000016	内田 健太	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	営業1課	404KC_0000000023	中田 真由美	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	営業1課	picasso_aapoustjp_00000000	橋 秀雄	Android	090xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	総務課	iPhone_000000026	森 太郎	iOS	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	営業1課	iPhone_000000029	別所 哲郎	iOS	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	営業1課	Surface Pro 5_0000000044	吉田 勝平	Windows	090xxxxxxxx	ノート
<input type="checkbox"/>	営業1課	Surface Pro 5_0000000045	加藤 信也	Windows	090xxxxxxxx	ノート
<input type="checkbox"/>	営業1課	404KC_0000000023	石井 健二	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	営業2課	404KC_0000000018	平尾 昌作	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	営業2課	404KC_0000000007	佐藤 理恵子	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	営業部	iPhone_000000020	伊藤 拓	iOS	080xxxxxxxx	スマートフォン

3. 【管理情報】の【編集】をクリックします。



4. 内容を編集し、【保存】をクリックします。



■ デバイス情報を一括で編集する

デバイス情報をエクスポートし、CSV ファイルを編集して、インポートできます。

ステップ：

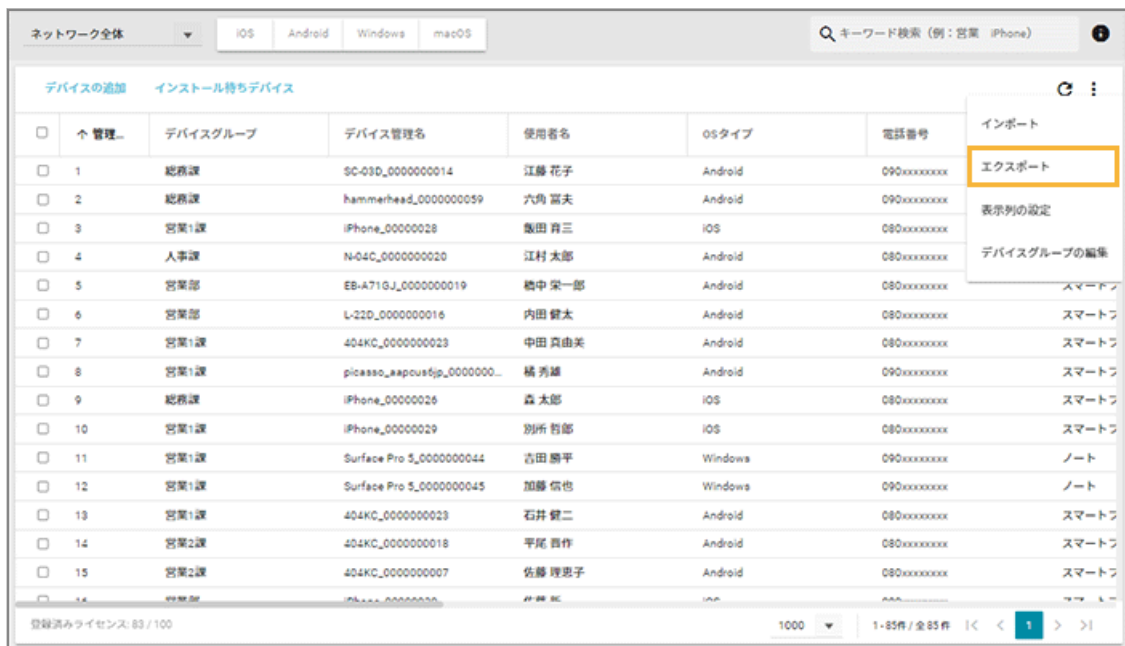
1. [デバイス情報をエクスポートする](#)
2. [エクスポートしたファイルを編集する](#)
3. [編集したデバイス情報をインポートする](#)

ステップ 1： デバイス情報をエクスポートする

1. [リスト] の [デバイス] をクリックします。



2.  をクリックし、[エクスポート] をクリックします。



3. 管理コンソールに記載の手順に従って設定し、[ダウンロード] をクリックします。



ポイント

エクスポートする項目で、共通の「管理 No.」とデバイス情報の「OS タイプ」は、インポート時にデバイスを紐づけるため、必須項目としてあらかじめチェックされています。

→ CSV ファイルがエクスポートされます。

4. [閉じる] をクリックします。

ステップ 2： エクスポートしたファイルを編集する

ポイント

- インポートできるデバイス情報は、「管理情報」と「デバイスグループ」の項目です。
- 「デバイスグループ階層 1」には、ネットワーク全体配下のデバイスグループを入力してください。「デバイスグループ階層 1」が未入力の場合は、自動的にネットワーク全体になります。

注意

- 「管理 No.」と「OS タイプ」は、インポート時にデバイスの紐づけが必要なため、編集しないでください。
- 項目によっては入力値に制限があります。制限値以外の入力がある場合、インポートに失敗します。

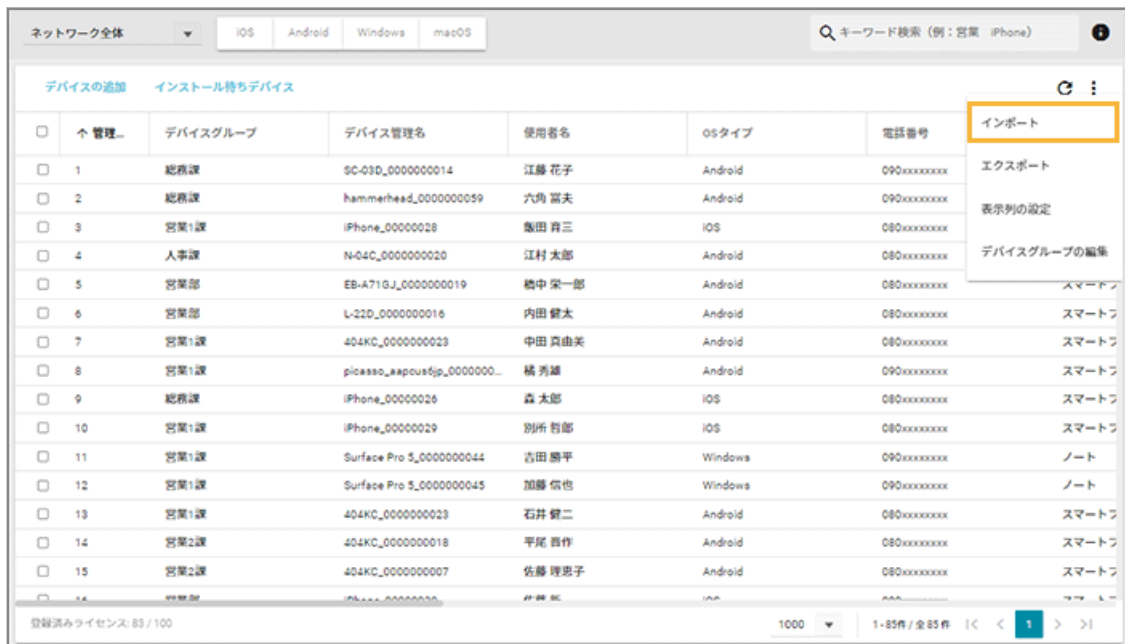
1. 各デバイスの情報を編集し、上書き保存します。

ステップ 3： 編集したデバイス情報をインポートする

1. [リスト] の [デバイス] をクリックします。



2. [インポート] をクリックし、[インポート] をクリックします。



3. 管理コンソールに記載の手順に従って、インポートします。

(1) [ファイルを選択] をクリックし、編集したインポートファイルを選択します。

ファイルの内容が正しく読み込まれない場合は、エンコードを確認します。



(2) [自動選択] をクリックします。



→ 「関連づける列名」が自動的に選択されます。

「項目名」と「ファイルの列名」の項目が一致していないと自動的に選択されません。その場合は、対応する項目を1つずつ紐づけます。

(3) プレビューを確認し、[インポート] をクリックします。

プレビュー

管理No.	OSタイプ	デバイス管理名	デバイ
32	WINDOWS	Surface 3_0000000056	LAPTC
31	WINDOWS	Surface 3_0000000057	LAPTC
30	ANDROID	404KC_0000000029	MOBIL
29	MAC	MacBook_00000064	DESKT
28	MAC	MacBook_00000066	DESKT

[インポート](#)

→ 「インポート完了」画面が表示されます。

インポートが完了しました。

インポート件数： ■件

※ データが反映されるまでに少しお時間がかかる場合があります。

[デバイス一覧](#)

[インポートに戻る](#)

[デバイス一覧] をクリックすると、インポートしたデータを確認できます。

第3章 カスタムインストール

カスタムインストール（デバイスごとに異なるインストール URL）を利用し、LANSCOPE クライアントをインストールします。

1. **3-1 MDM 証明書を登録する** 必須

iOS/macOS デバイスの管理に必要な MDM 証明書をエンドポイントマネージャー Free に登録します。

2. **3-2 グループを設定する**

事前にグループ設定をしておくこと、設定したグループの配下に LANSCOPE クライアントをインストールしたデバイスが配置されます。

3. **3-3 管理対象デバイスの情報を登録する**

デバイスを紐づけるための情報を登録します。

4. **3-4 インストール手順と URL を確認する** 必須

LANSCOPE クライアントのインストール手順と、インストールに必要な URL を確認します。

5. **3-5 デバイスに LANSCOPE クライアントをインストールする** 必須

デバイスごとに LANSCOPE クライアントをインストールします。

3-1 MDM 証明書を登録する

必須

iOS/macOS デバイスの管理に必要な MDM 証明書をエンドポイントマネージャー Free に登録します。

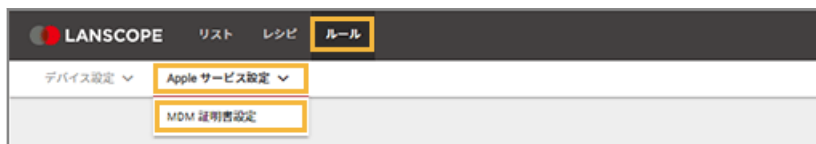
MDM 証明書の有効期限は登録から 1 年で、毎年更新が必要です。

事前に、MDM 証明書をダウンロードするために必要な Apple ID を準備します。

注意

MDM 証明書を更新するときにも同じ Apple ID を使用するため、Apple ID を紛失しないように注意してください。紛失などで Apple ID がわからなくなった場合、デバイスに LANSCOPE クライアントの入れ直しが必要になります。

1. **【ルール】 の【Apple サービス設定】 > 【MDM 証明書設定】 をクリックします。**



2. **【MDM 証明書の登録】 をクリックします。**



3. **管理コンソールに記載の手順に従って、MDM 証明書を登録します。**

MDM 証明書の登録・更新

MDM 証明書は、iOS デバイス または Mac デバイスを LANSCOPE で管理するために必要となる証明書です。
MDM 証明書の有効期限は登録から1年で、毎年更新が必要です。

注意事項
Apple ID を紛失して MDM 証明書を更新できなくなった場合は、新しい MDM 証明書を登録し、各デバイスに MDM 構成プロファイルを再インストールする必要があります。

- 1

CSR ファイルのダウンロード

ベンダー署名付きCSRファイルをダウンロードします。
追加でベンダー署名付き CSR ファイルが必要な場合は、MDM 証明書を保存したあとにダウンロードしてください。

ダウンロード
- 2

MDM 証明書ファイルの作成 および ダウンロード

手順1でダウンロードしたベンダー署名付き CSR ファイルを使用し、Apple 管理サイト Apple Push Certificates Portal にて MDM 証明書を作成 および ダウンロードします。

Apple Push Certificates Portal

Apple Push Certificates Portal でのダウンロード手順はこちらをご確認ください。
[マニュアル](#)
- 3

MDM 証明書ファイルのアップロード

手順2でダウンロードした MDM 証明書をアップロードします。
ファイルの読み込みが完了すると、有効期限が表示されます。

ファイル選択
- 4

有効期限通知メールの設定

有効期限が切れる前にメールで通知する

計4回（期日の30日前 / 7日前 / 前日 / 当日）設定したメールアドレス宛に送信されます。
(送信元アドレス: an_report2@LANSCOPE.onmicrosoft.com)

通知先メールアドレス *

[メールアドレス]

テスト送信
- 5

Apple ID や電話番号などの設定

MDM 証明書を更新するには、登録時に使用した Apple ID が必要です。
Apple ID や 2 ファクタ認証で使用している電話番号など、メモしておくことをおすすめします。

例) Apple ID : sample@motex.co.jp 電話番号 : 09012345678

メモ

Apple ID : sample@motex.co.jp パスワード : sample123

/

閉じる 保存

4. [保存] をクリックします。

→ MDM 証明書の登録が完了します。

3-2 グループを設定する

事前にグループ設定をしておくことで、設定したグループの配下に LANSCOPE クライアントをインストールしたデバイスが配置されます。

グループは5階層まで作成できます。

設定方法は次のとおりです。

■ グループを手動で設定する

1. [ルール] の [デバイス設定] > [デバイスグループ設定] をクリックします。



2. 設定するデバイスグループの上位階層のデバイスグループをクリックし、[追加] をクリックします。



→ 選択した階層の下に「新しいデバイスグループ」が追加されます。

3. 「新しいデバイスグループ」をダブルクリックし、「デバイスグループ名」と「グループコード」を入力します。

注意

- グループコードには、一意の値を入力してください。
- 入力できる文字の種類に制限はありません（英字／数字／漢字／ひらがな／カタカナ可）。
- 入力できる文字数は、100文字以内です。



4. [保存] をクリックします。

■ グループを一括で設定する

1. [ルール] の [デバイス設定] > [デバイスグループ設定] をクリックします。



2.  をクリックし、[エクスポート] をクリックします。



→ CSV ファイルがエクスポートされます。

3. エクスポートしたファイルを編集し、インポートファイルを作成します。

- 「グループ名」「グループコード」「上位グループコード」を入力します。
- 「上位グループコード」が未記入の場合、1 階層目に設定されます。

注意

- グループコードには、一意の値を入力してください。
- 入力できる文字の種類に制限はありません（英字／数字／漢字／ひらがな／カタカナ可）。
- 入力できる文字数は、100 文字以内です。

4. をクリックし、[インポート] をクリックします。



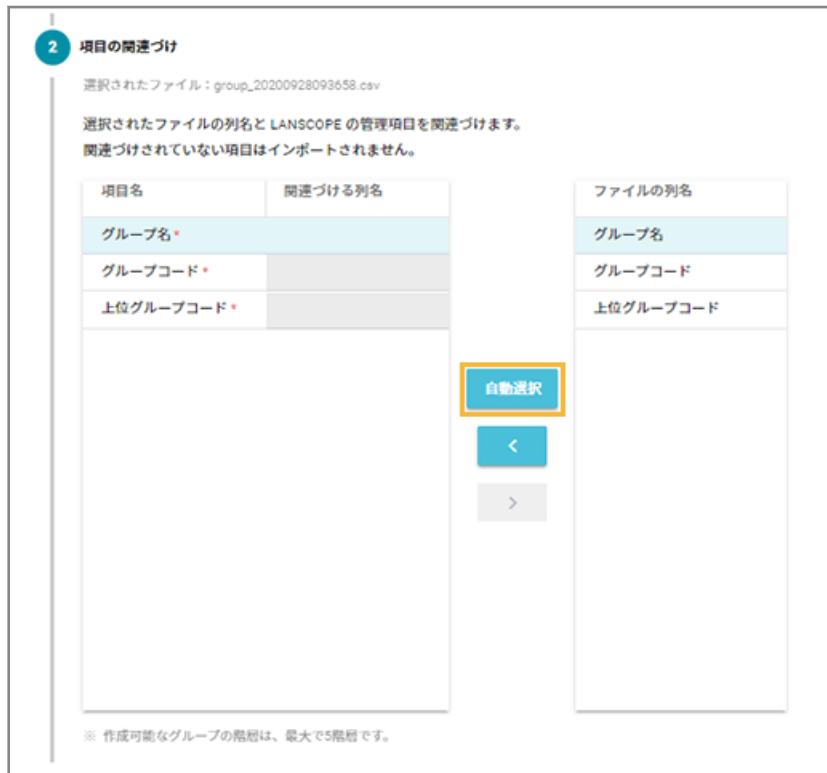
5. 管理コンソールに記載の手順に従って、インポートします。

(1) [ファイルを選択] をクリックし、作成したインポートファイルを選択します。

ファイルの内容が正しく読み込まれない場合は、エンコードを確認します。



(2) [自動選択] をクリックします。



→ 「関連づける列名」が自動的に選択されます。

「項目名」と「ファイルの列名」の項目が一致していないと自動的に選択されません。その場合は、対応する項目を1つずつ紐づけます。

- (3) インポートファイルに記載されていないグループを管理コンソールから削除する場合は、チェックします。



- (4) [インポート] をクリックします。

→ インポートが完了します。

6. 内容を確認し、[保存] をクリックします。



3-3 管理対象デバイスの情報を登録する

デバイスを紐づけるための情報を登録します。

■ デバイス情報を1台ずつ追加する

1. [リスト] の [デバイス] をクリックします。



2. [デバイスの追加] をクリックします。

<input type="checkbox"/>	↑ 管理...	デバイスグループ	デバイス管理名	使用者名	OSタイプ	電話番号	デバイスタ...
<input type="checkbox"/>	1	総務課	SC-03D_0000000014	江藤 花子	Android	090xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	2	総務課	hammerhead_0000000059	六角 富夫	Android	090xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	3	営業1課	iPhone_000000028	飯田 育三	iOS	080xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	4	人事課	N-04C_0000000020	江村 太郎	Android	080xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	5	営業部	EB-A71GJ_0000000019	橋中 栄一郎	Android	080xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	6	営業部	L-22D_0000000016	内田 健太	Android	080xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	7	営業1課	404KC_0000000023	中田 真由美	Android	080xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	8	営業1課	picasso_aapoustjp_0000000...	橋 秀雄	Android	090xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	9	総務課	iPhone_000000026	森 太郎	iOS	080xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	10	営業1課	iPhone_000000029	別所 哲郎	iOS	080xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	11	営業1課	Surface Pro 5_0000000044	吉田 勝平	Windows	090xxxxxxxx	ノート
<input type="checkbox"/>	12	営業1課	Surface Pro 5_0000000045	加藤 信也	Windows	090xxxxxxxx	ノート
<input type="checkbox"/>	13	営業1課	404KC_0000000023	石井 健二	Android	080xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	14	営業2課	404KC_0000000018	平尾 晋作	Android	080xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	15	営業2課	404KC_0000000007	佐藤 理恵子	Android	080xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	16	総務部	iPhone_000000020	伊藤 拓	iOS	080xxxxxxxx	スマートフ...

3. [カスタムインストール] をクリックします。



4. デバイスの情報を入力し、[追加] をクリックします。

項目	値
OS タイプ	対象デバイスの OS
デバイスグループ	所属するデバイスグループ 事前に設定しておいたグループを指定します。
デバイス管理名	デバイスを特定できる任意のデバイス管理名
使用者名	デバイスを特定できる任意の使用者名
送信先メールアドレス	デバイスのメールアドレス 管理コンソールからインストールの手順と URL をデバイスにメール通知するときが必要です。

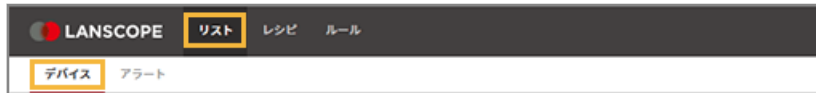
表示される内容は OS タイプによって異なります。

→ 「登録が完了しました。」と表示されたら、デバイスの追加が完了します。

続けて追加する場合は、[続けて登録] をクリックします。[インストール待ちデバイス一覧] をクリックすると、追加したデバイスの情報を確認できます。

■ デバイス情報を一括で追加する

1. [リスト] の [デバイス] をクリックします。



2. [デバイスの追加] をクリックします。

ネットワーク全体 ▼ iOS Android Windows macOS 🔍 キーワード検索 (例: 営業 iPhone)

デバイスの追加 インストール待ちデバイス

管理	デバイスグループ	デバイス管理名	使用人名	OSタイプ	電話番号	デバイス
<input type="checkbox"/>	1 総務課	SC-03D_0000000014	江藤 花子	Android	090xxxxxxxx	スマートフ
<input type="checkbox"/>	2 総務課	hammerhead_0000000059	六角 富夫	Android	090xxxxxxxx	スマートフ
<input type="checkbox"/>	3 営業1課	iPhone_0000000028	飯田 育三	iOS	080xxxxxxxx	スマートフ
<input type="checkbox"/>	4 人事課	N-04C_0000000020	江村 太郎	Android	080xxxxxxxx	スマートフ
<input type="checkbox"/>	5 営業部	EB-A71GJ_0000000019	橋中 栄一郎	Android	080xxxxxxxx	スマートフ
<input type="checkbox"/>	6 営業部	L-22D_0000000016	内田 健太	Android	080xxxxxxxx	スマートフ
<input type="checkbox"/>	7 営業1課	404KC_0000000023	中田 真由美	Android	080xxxxxxxx	スマートフ
<input type="checkbox"/>	8 営業1課	picasso_aapovstjp_00000000...	横 秀雄	Android	090xxxxxxxx	スマートフ
<input type="checkbox"/>	9 総務課	iPhone_0000000026	森 太郎	iOS	080xxxxxxxx	スマートフ
<input type="checkbox"/>	10 営業1課	iPhone_0000000029	別所 哲郎	iOS	080xxxxxxxx	スマートフ
<input type="checkbox"/>	11 営業1課	Surface Pro 3_0000000044	吉田 勝平	Windows	090xxxxxxxx	ノート
<input type="checkbox"/>	12 営業1課	Surface Pro 5_0000000045	加藤 信也	Windows	090xxxxxxxx	ノート
<input type="checkbox"/>	13 営業1課	404KC_0000000023	石井 健二	Android	080xxxxxxxx	スマートフ
<input type="checkbox"/>	14 営業2課	404KC_0000000018	平尾 晋作	Android	080xxxxxxxx	スマートフ
<input type="checkbox"/>	15 営業2課	404KC_0000000007	佐藤 理恵子	Android	080xxxxxxxx	スマートフ
<input type="checkbox"/>	16 営業部	iPhone_0000000030	伊藤 隆	iOS	080xxxxxxxx	スマートフ

登録済みライセンス: 83 / 100 1000 1-85件 / 全 85 件 < 1 >

3. [カスタムインストール] をクリックします。

← デバイス追加

LANSCOPE で管理したいデバイスを追加する

LANSCOPE クライアントのインストール方法を以下より選択してください。

かんたんインストール

すべてのデバイスに同じ URL を用いて、LANSCOPE クライアントをインストールします。

主な利用シーン

- 管理者がまとめてインストールする場合
- 各デバイスを使用する人や部署が決まっていない場合

カスタムインストール

デバイスごとに異なる URL (登録キー) を用いて、LANSCOPE クライアントをインストールします。インストールが完了すると事前に登録した情報とデバイスが結びます。

主な利用シーン

- デバイス使用者にインストールしてもらった場合
- 各デバイスを使用する人や部署が決まっている場合

4. [一括インポート追加] をクリックします。



5. インポートデータ（CSV ファイル）を作成します。



- (1) [テンプレートのダウンロード] をクリックし、[Shift-JIS] または [UTF-8] をクリックします。

→ 選択したエンコードでインポートデータのひな型がダウンロードされます。

- (2) CSV ファイルを編集します。

項目	値
OS タイプ	対象デバイスの OS
デバイス管理名	デバイスを特定できる任意のデバイス管理名
送信先メールアドレス	デバイスのメールアドレス 管理コンソールからインストールの手順と URL をデバイスにメール通知するときに必要です。
デバイスグループ階層 1~5	所属するデバイスグループ 事前に設定しておいたグループを指定します。
使用者名	デバイスを特定できる任意の使用者名

詳細は、[インポートデータの作成方法] をクリックしてください。

6. [ファイルを選択] をクリックし、作成したインポートファイルを選択します。

ファイルの内容が正しく読み込まれない場合は、エンコードを確認します。



7. [自動選択] をクリックします。



→ 「関連づける列名」が自動的に選択されます。

「項目名」と「ファイルの列名」の項目が一致していないと自動的に選択されません。その場合は、対応する項目を1つずつ紐づけます。

8. プレビューを確認し、[インポート] をクリックします。



→ 「インポートが完了しました。」と表示されたら、デバイスの追加が完了します。



[インストール待ちデバイス一覧] をクリックすると、追加したデバイスの情報を確認できます。

3-4 インストール手順と URL を確認する

必須

LANSCOPE クライアントのインストール手順と、インストールに必要な URL を確認します。

ステップ：

1. [インストール手順と URL を確認する](#)
2. [メールで通知する](#)

ステップ 1： インストール手順と URL を確認する

1. [リスト] の [デバイス] をクリックします。

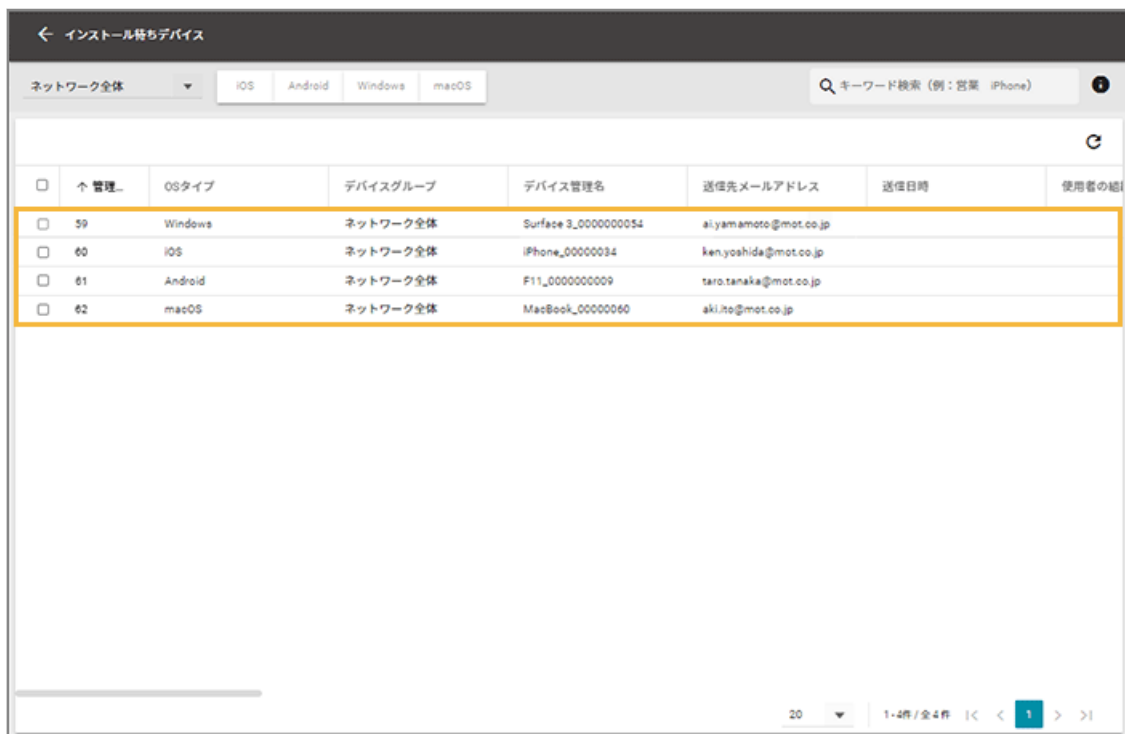


2. [インストール待ちデバイス] をクリックします。

管理	デバイスグループ	デバイス管理名	使用者名	OSタイプ	電話番号	デバイスステータス
<input type="checkbox"/>	総務課	SC-09D_0000000014	江藤 花子	Android	090xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	総務課	hammerhead_0000000059	六角 富夫	Android	090xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	営業1課	iPhone_000000028	飯田 育三	iOS	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	人事課	N-04C_0000000020	江村 太郎	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	営業部	EB-A71GJ_0000000019	橋中 栄一郎	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	営業部	L-22D_0000000016	内田 健太	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	営業1課	404KC_0000000023	中田 真由美	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	営業1課	picasso_aapoustjp_00000000...	橋 秀雄	Android	090xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	総務課	iPhone_000000026	森 太郎	iOS	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	営業1課	iPhone_000000029	別所 有郎	iOS	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	営業1課	Surface Pro 5_0000000044	吉田 磨平	Windows	090xxxxxxxx	ノート
<input type="checkbox"/>	営業1課	Surface Pro 5_0000000045	加藤 信也	Windows	090xxxxxxxx	ノート
<input type="checkbox"/>	営業1課	404KC_0000000023	石井 健二	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	営業2課	404KC_0000000018	平尾 晋作	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	営業2課	404KC_0000000007	佐藤 理恵子	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	営業部	iPhone_000000020	伊藤 拓	iOS	080xxxxxxxx	スマートフォン

→ 管理対象デバイスの情報を追加したあと、MDM 構成プロファイルがインストールされていないデバイスが表示されます。

3. 対象デバイスをクリックします。



4. 手順とインストール URL を確認します。

対象デバイスに応じて、内容が切り替わります。



◀ ▶ をクリックすると、前後のデバイス情報に切り替わります。

ステップ 2： メールで通知する

各デバイスにインストール手順と、インストールに必要な URL をメールで通知します。

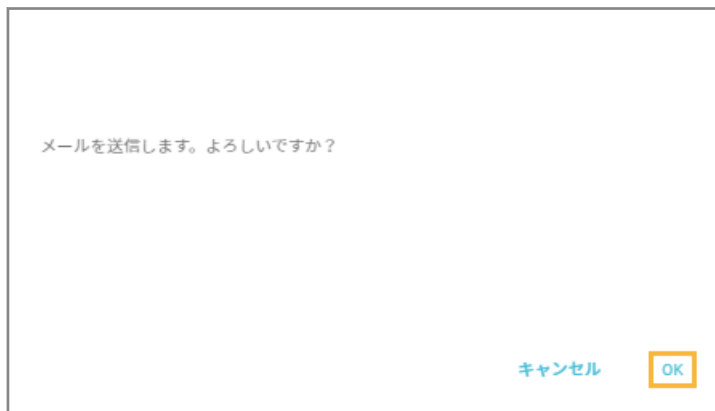
1 台ずつ通知する

1. **【インストール手順を送信する】をクリックします。**



→ 確認ダイアログが表示されます。

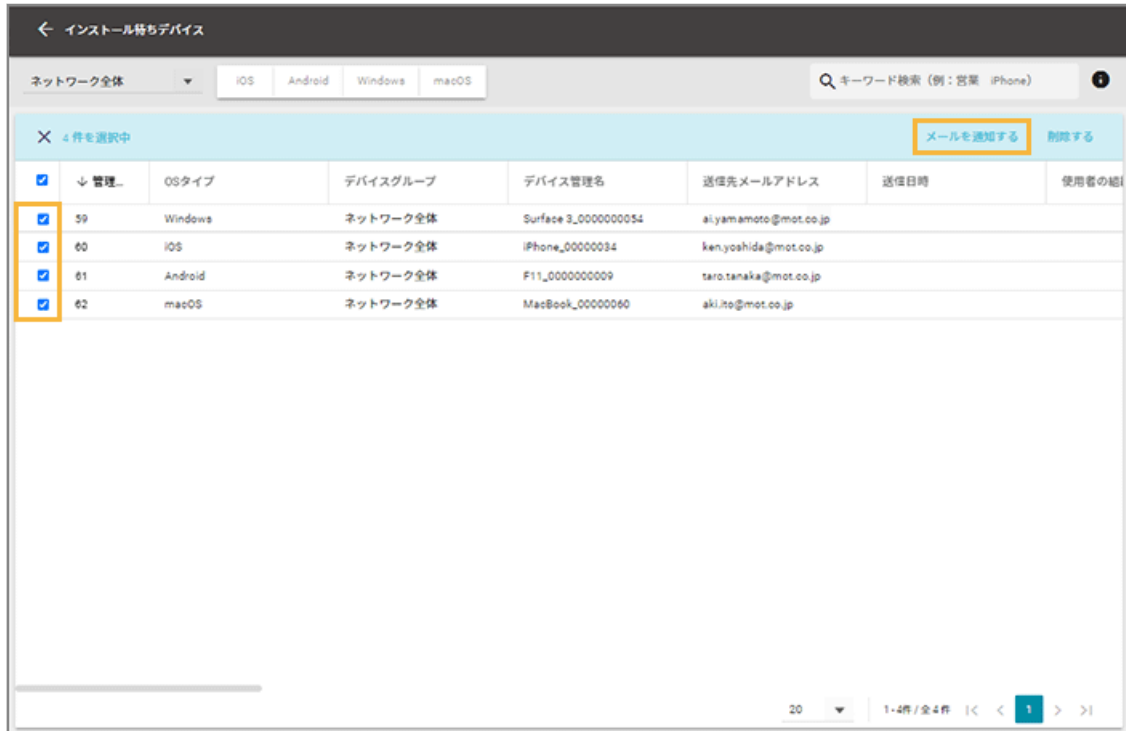
2. **【OK】をクリックします。**



一括で通知する

複数デバイスに一括でメールを通知します。

1. **「デバイス詳細」画面を閉じます。**
→ 「インストール待ちデバイス」画面に戻ります。
2. **デバイスをチェックし、【メールを通知する】をクリックします。**



→ 確認ダイアログが表示されます。

3. [OK] をクリックします。



3-5 デバイスに LANSCOPE クライアントをインストールする

必須

デバイスごとに LANSCOPE クライアントをインストールします。

OSバージョンにより、画面や手順が異なる場合があります。

注意

- カスタムインストールは、デバイスごとに専用の URL を利用します。そのため、一度 MDM 構成プロファイルをインストールした URL を利用して、再度インストールできません。
- MDM 構成プロファイルをインストールする前に、「インストール待ちデバイス」画面からデバイス情報を削除した場合、削除したデバイス情報の URL は利用できません。

■ macOS Ventura 以上の場合

1. Safari で MDM 構成プロファイルのインストール URL にアクセスします。

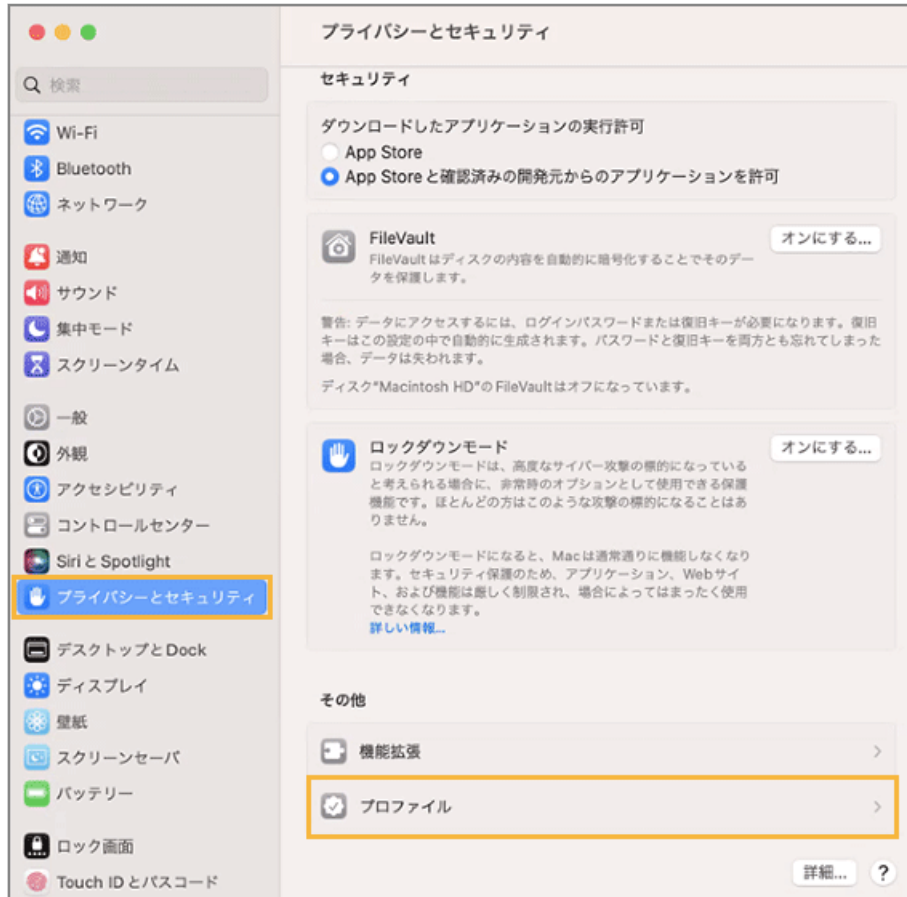
→ 確認ダイアログが表示されます。

2. [許可] をクリックします。

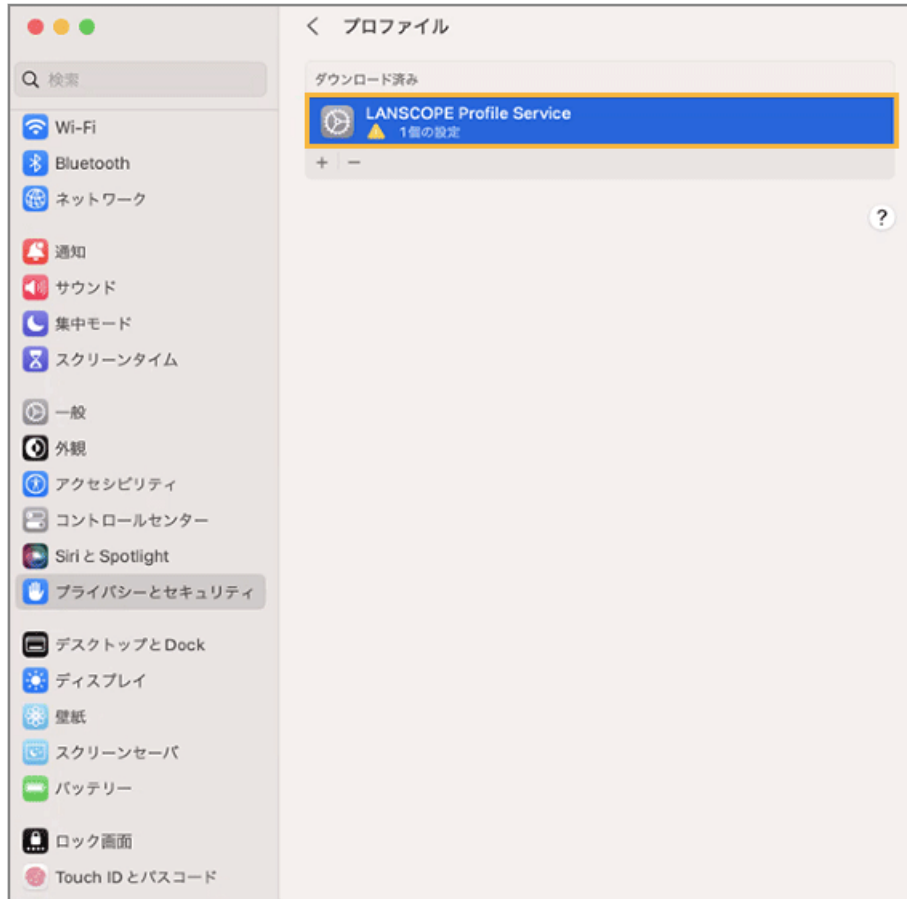


3. ダウンロードされたファイルをクリックします。

4. [システム設定] の [プライバシーとセキュリティ] > [プロファイル] をクリックします。

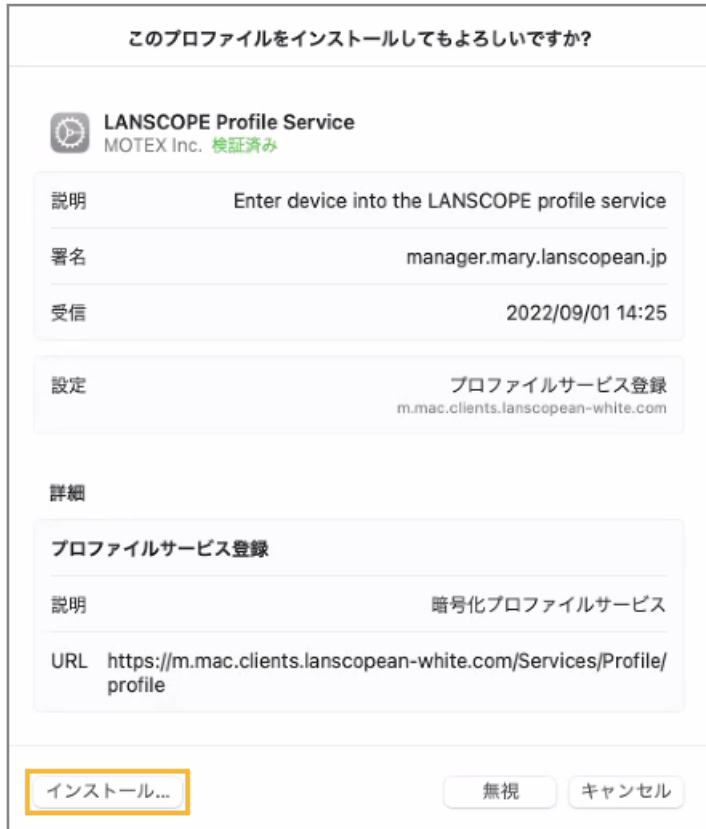


5. MDM 構成プロファイルをダブルクリックします。



→ 確認ダイアログが表示されます。

6. **【インストール】** をクリックします。



7. デバイスのパスワードを入力し、[登録] をクリックします。



8. 「LANSCOPE for macOS」が表示されていることを確認します。



→ MDM 構成プロファイルのインストールが完了します。

ポイント

- MDM 構成プロファイルがインストールされると、[リスト] > [デバイス] のデバイス一覧に表示されます。
- MDM 構成プロファイルのインストール後に資産情報が取得されると、LANSCOPE Client が自動でインストールされます。

LANSCOPE Client のインストールが完了すると、[リスト] > [デバイス] > 「デバイス詳細」画面に、LANSCOPE Client のインストール日時などの情報が表示されます。

■ macOS Monterey / Big Sur の場合

1. Safari で MDM 構成プロファイルのインストール URL にアクセスします。

→ 確認ダイアログが表示されます。

2. [許可] をクリックします。

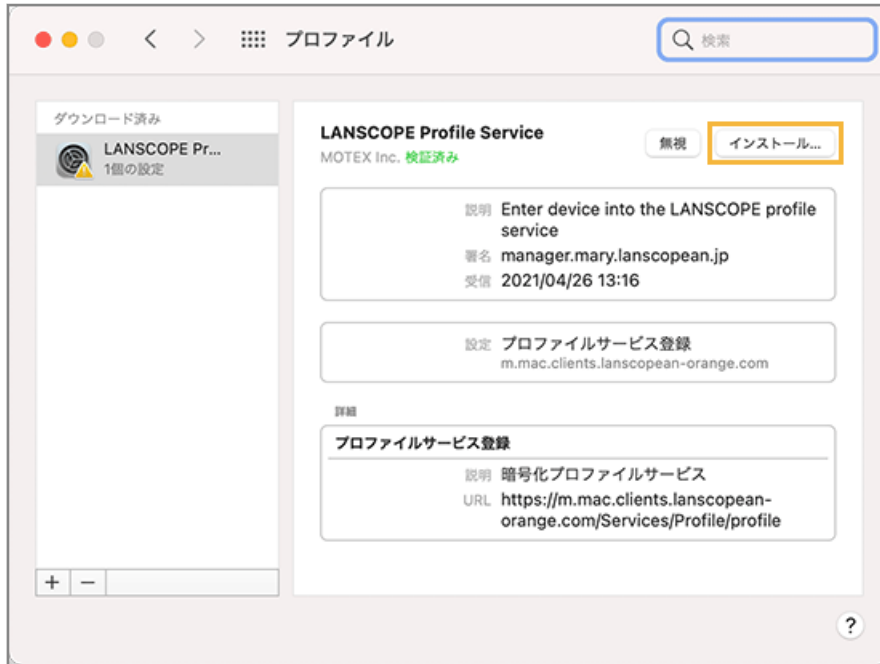


3. ダウンロードされたファイルをクリックします。

4. [システム環境設定] の [プロフィール] をクリックします。



5. [インストール] をクリックします。



→ 確認ダイアログが表示されます。

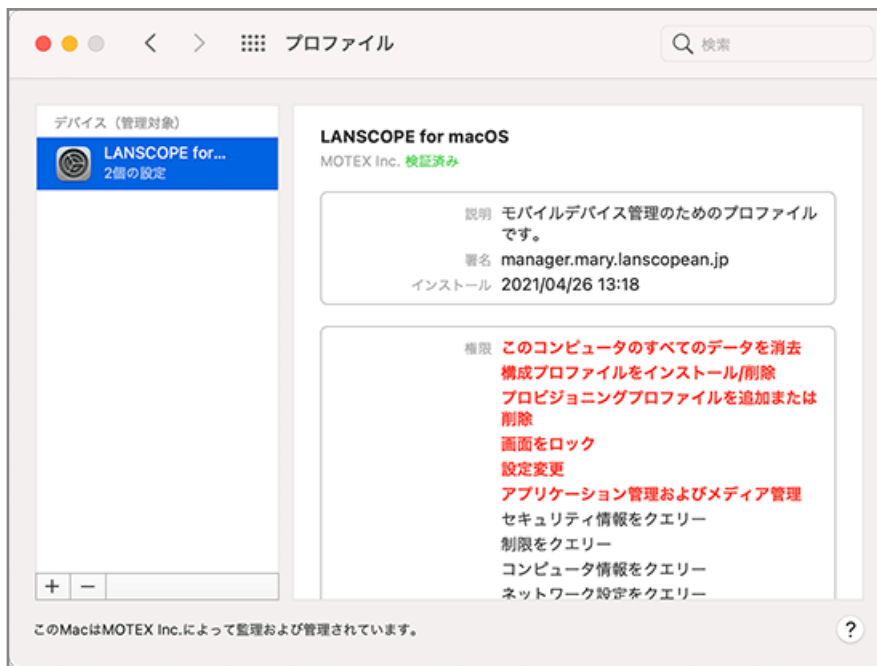
6. [インストール] をクリックします。



7. デバイスのパスワードを入力し、[登録] をクリックします。



8. 「LANSCOPE for macOS」が表示されていることを確認します。



→ MDM 構成プロフィールのインストールが完了します。

ポイント

- MDM 構成プロファイルがインストールされると、[リスト] > [デバイス] のデバイス一覧に表示されます。
- MDM 構成プロファイルのインストール後に資産情報が取得されると、LANSCOPE Client が自動でインストールされます。

LANSCOPE Client のインストールが完了すると、[リスト] > [デバイス] > 「デバイス詳細」画面に、LANSCOPE Client のインストール日時などの情報が表示されます。

■ macOS Catalina の場合

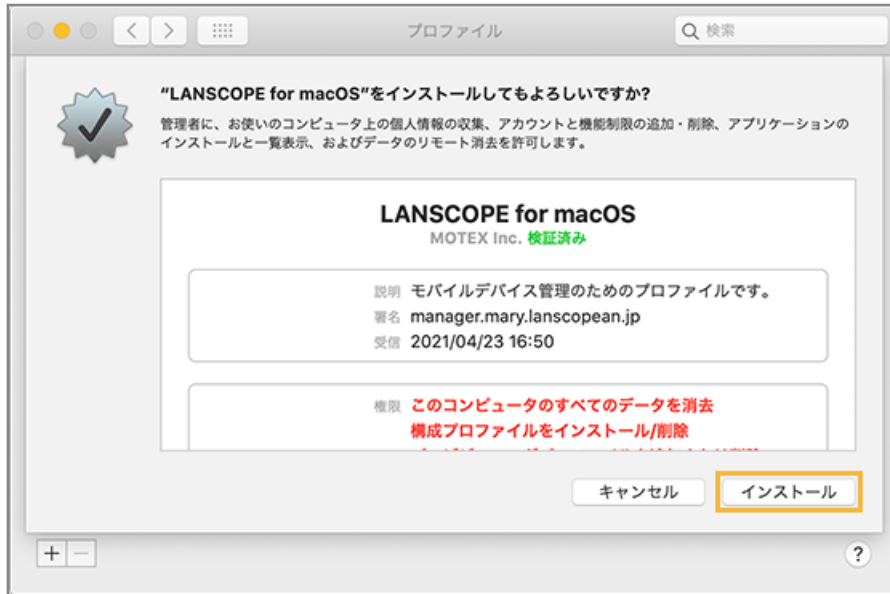
1. Safari で MDM 構成プロファイルのインストール URL にアクセスします。

→ 確認ダイアログが表示されます。

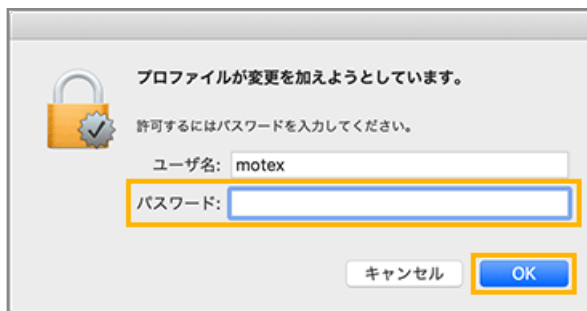
2. [インストール] をクリックします。



3. [インストール] をクリックします。



4. デバイスのパスワードを入力し、[OK] をクリックします。



5. 「LANSCOPE for macOS」が表示されていることを確認します。



→ MDM 構成プロフィールのインストールが完了します。

ポイント

- MDM 構成プロファイルがインストールされると、[リスト] > [デバイス] のデバイス一覧に表示されます。
- MDM 構成プロファイルのインストール後に資産情報が取得されると、LANSCOPE Client が自動でインストールされます。

LANSCOPE Client のインストールが完了すると、[リスト] > [デバイス] > 「デバイス詳細」画面に、LANSCOPE Client のインストール日時などの情報が表示されます。

こんなときは

- [機種変更などでデバイスが変更になった場合](#)

機種変更などでデバイスが変更となる場合の対応方法について説明します。

- [トラブルシューティング](#)

トラブル発生時の対応方法について説明します。

機種変更などでデバイスが変更になった場合

機種変更などでデバイスが変更となる場合の対応方法について説明します。

ステップ：

1. [古いデバイスの情報を削除する](#)
2. [古いデバイスから LANSCOPE クライアントをアンインストールする](#)
3. [新しいデバイスを登録する](#)

ステップ 1： 古いデバイスの情報を削除する

ライセンスに余剰がない場合、古いデバイスの情報を削除し、ライセンスを確保します。余剰ライセンスがある場合は、デバイス情報を削除せずに新しいデバイスを登録できます。

デバイス情報の削除方法については、An-345「Free 利用ガイド」を参照してください。

ステップ 2： 古いデバイスから LANSCOPE クライアントをアンインストールする

アンインストール方法については、An-337「Free アンインストールガイド」を参照してください。

ステップ 3： 新しいデバイスを登録する

本ガイドを参照し、新しいデバイスに LANSCOPE クライアントをインストールして登録します。

トラブルシューティング

トラブル発生時の対応方法について説明します。

MDM 構成プロファイルインストール時のエラー

エラーメッセージ	補足	対応方法
URL が正しくありません。管理者までご連絡ください。	—	URL に誤りがないかを確認してください。
無効なプロファイル	—	<p>次の内容を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録設定に誤りがないか カスタムインストールの場合、すでに他のデバイスが同じ URL で登録されていないか 残りライセンスが「0」になっていないか 体験版環境など、他のエンドポイントマネージャー Free 環境に該当デバイスの情報が残っていないか
プロファイルをインストールできませんでした。	SCEP サーバは無効な応答を返しました。	弊社までお問い合わせください。
	プロファイルのインストールに失敗しました。	<p>次の内容を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録設定に誤りがないか カスタムインストールの場合、すでに他のデバイスが同じ URL で登録されていないか 残りライセンスが「0」になっていないか
	原因不明のエラーが起きたため、プロファイル"LANSCOPE for macOS"をインストールできませんでした。 <InternalError: 1>	弊社までお問い合わせください。
プロファイルのインストールに失敗しました。	プロファイル"LANSCOPE for macOS"をインストールできませんでした。	再度登録してください。
	"モバイルデバイス管理"はインストール済みです。	デバイスに他の MDM 機能を持つ構成プロファイルがインストールされている可能性

エラーメッセージ	補足	対応方法
		があります。構成プロファイルを削除してから再度登録してください。
ダウンロードの失敗	エラーコード:102	MDM 構成プロファイルのインストール URL に、Safari 以外の Web ブラウザーでアクセスしている可能性があります。Safari でアクセスし直してください。
プロファイルを開けませんでした。	このプロファイルデータは署名されましたが、検証されませんでした。このプロファイルは破損している可能性があります。	残りライセンスが「0」になっていないか確認してください。
Profile installation error	Unable to process the file "XXXXXXXX".	<p>かんたんインストールの場合</p> <p>弊社までお問い合わせください。</p> <p>カスタムインストールの場合</p> <p>すでに他のデバイスが同じ URL で登録されています。再度デバイスを追加し、URL を作成してデバイスを登録してください。</p>

MOTEX

© MOTEX Inc.